

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立下新庄小

学校

児童数

52

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.14	16.31	28.52	41.79	38.18	9.67	151.21	19.21	48.26
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.78	18.00	34.27	42.77	29.65	9.84	143.96	13.61	53.36
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

体力合計点では、男子が大阪市平均を2.87ポイント、全国平均を4.33ポイント下回った。女子は大阪市平均を0.69ポイント上回ったものの、全国平均は0.92ポイント下回る結果となった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的に回答した割合は、男子は58.6%と全国平均を13.5ポイント下回ったが、女子は73.9%と19.4ポイント上回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子で14.8%と全国平均を5.8ポイント上回っており、女子では27.7%と全国平均を12.1ポイント上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、学期に1回おこなった「なわとび集会」、「なわとび週間」や「かけあし週間」の取り組みをおこない、学校全体で楽しみながら体力の向上を図った。コロナ禍では距離を保つために学年で運動場を利用できる時間帯を制限していたが、5月以降はどの学年でも、いつでも利用できるように変更し多、休み時間には多くの児童が運動場で遊ぶ姿が見られるようになり、遊びを通じて体力の向上を図ってきた。

今年度のスポーツテストの結果から、男女ともに20mシャトルランの結果が全国平均を大きく下回っており、持久力についての課題が浮き彫りになった。また、男女とも1週間の総運動時間が60分未満の割合が多く、運動時間が少ないこととの相関関係も推測される。男子の「運動やスポーツをすることは好きですか」への最も肯定的な回答の割合も低いことから、楽しみながら運動をおこなうことで、運動が好きになるような要素を取り入れながら体力の向上を図っていく必要がある。